

「富山県出身大学生キャリア形成の変容に係る意識調査」
成果報告（中間報告）会@関西大学千里山キャンパスB501（A） & Zoom
2026/2/10 15:00-16:30

「富山県出身大学生キャリア形成の変容に係る意識調査」 成果報告（中間報告）

関西大学社会学部濱ゼミ

飯田 彩、井川 審、池田 大知、小田 慶人、落合 勇羽、北西 空
吉川 昂希、小谷 隼、小林 颯汰、田中 彩音、永田 千夏、西上 実伶
西田 悠人、間 葵衣、原田 百桃、安井 穂乃花、安田 樹、吉迫 美晴

報告の概要

2025年4月より富山県商工労働部多様な人材活躍推進室働き方改革・女性活躍推進課様と協働して行ってきた「富山県出身大学生キャリア形成の変容に係る意識調査」についてこれまでの成果を報告する（中間報告という位置づけ）

具体的なリサーチ・クエスチョン：

「Uターンしない／Uターンするとの判断に至った就職意識の変容過程や決定的な要因は何なのか？」

→ キャリア形成意識について、「子どものころから中学までの時期」「高校から大学進学までの時期」「大学入学以降」「大学卒業後」の4つの時期に分け、富山県出身大学生14名に半構造化面接で尋ね、その変化を「個人の思い・意識」と「周囲からの影響」の2つの側面から考察した。

1. 問題の所在

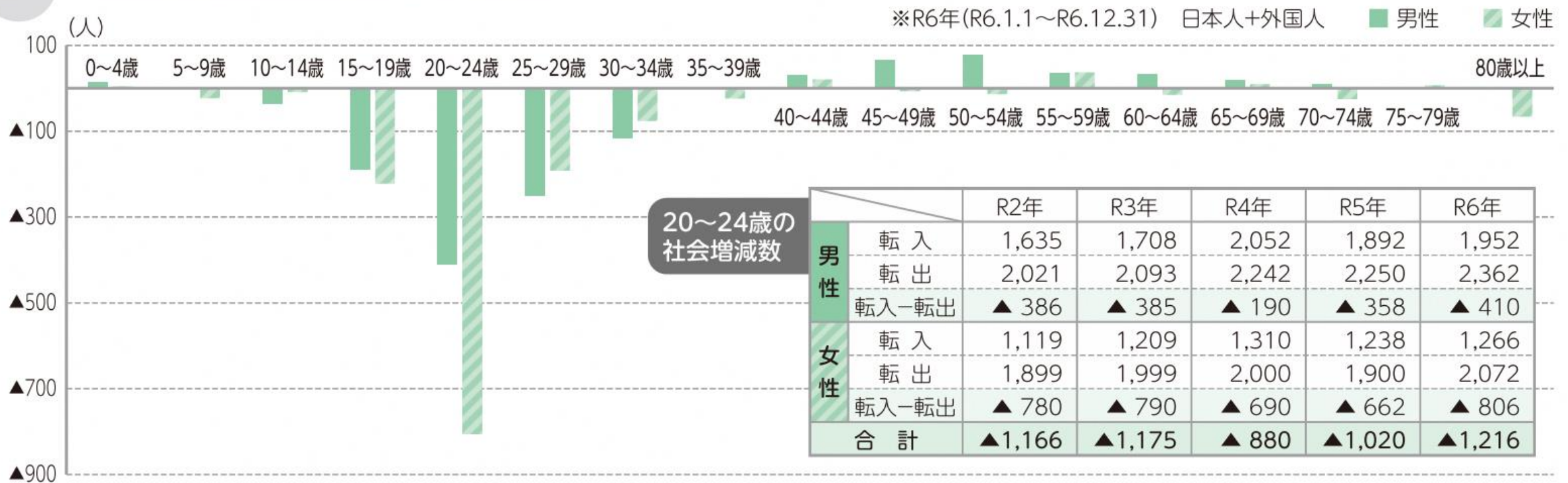
【富山県の課題】

●若者の転出超過

- ・ 若年世代（15歳～34歳）、特に就職期と重なる20代前半の女性の社会減
- ・ 若年世代の男女で人口のバランスが崩れている

・若年世代（15歳～34歳）、特に就職期と重なる20代前半の女性の社会減

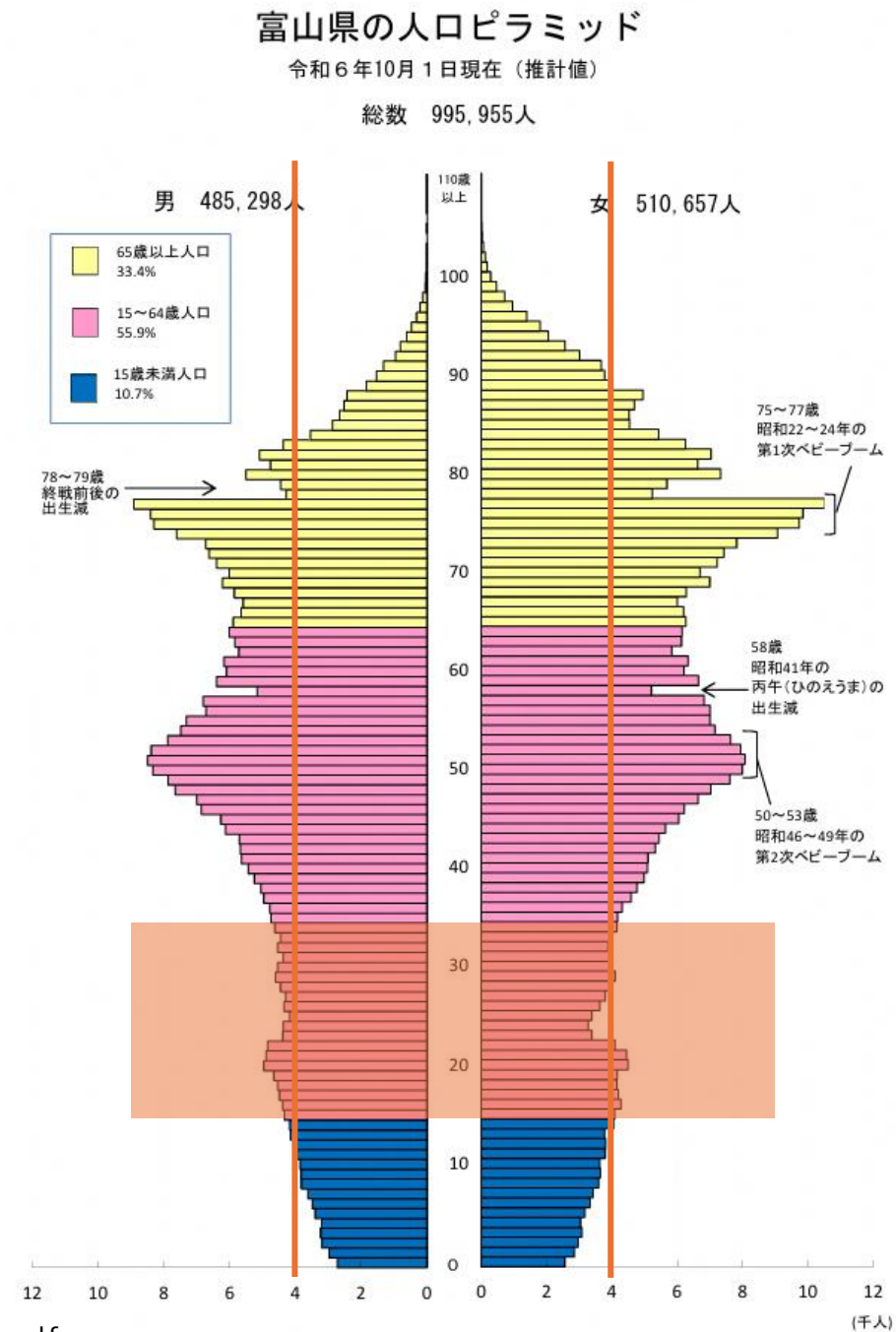
図4 年齢(5歳階級)別社会動態 (R6 富山県)



資料：住民基本台帳人口移動報告(総務省)

出典：富山県知事政策局 企画室人口未来課、『とやまこども・若者みらいプラン～少子化を乗り越え、希望が叶う未来へ～ 富山県子育て支援・少子化対策に関する基本計画』2025年3月、9頁。

- ・ 若年世代の男女で人口のバランスが崩れている



これまでの県の調査でわかっていること

令和4年度Uターン就職に関するアンケート調査（県労働政策課）

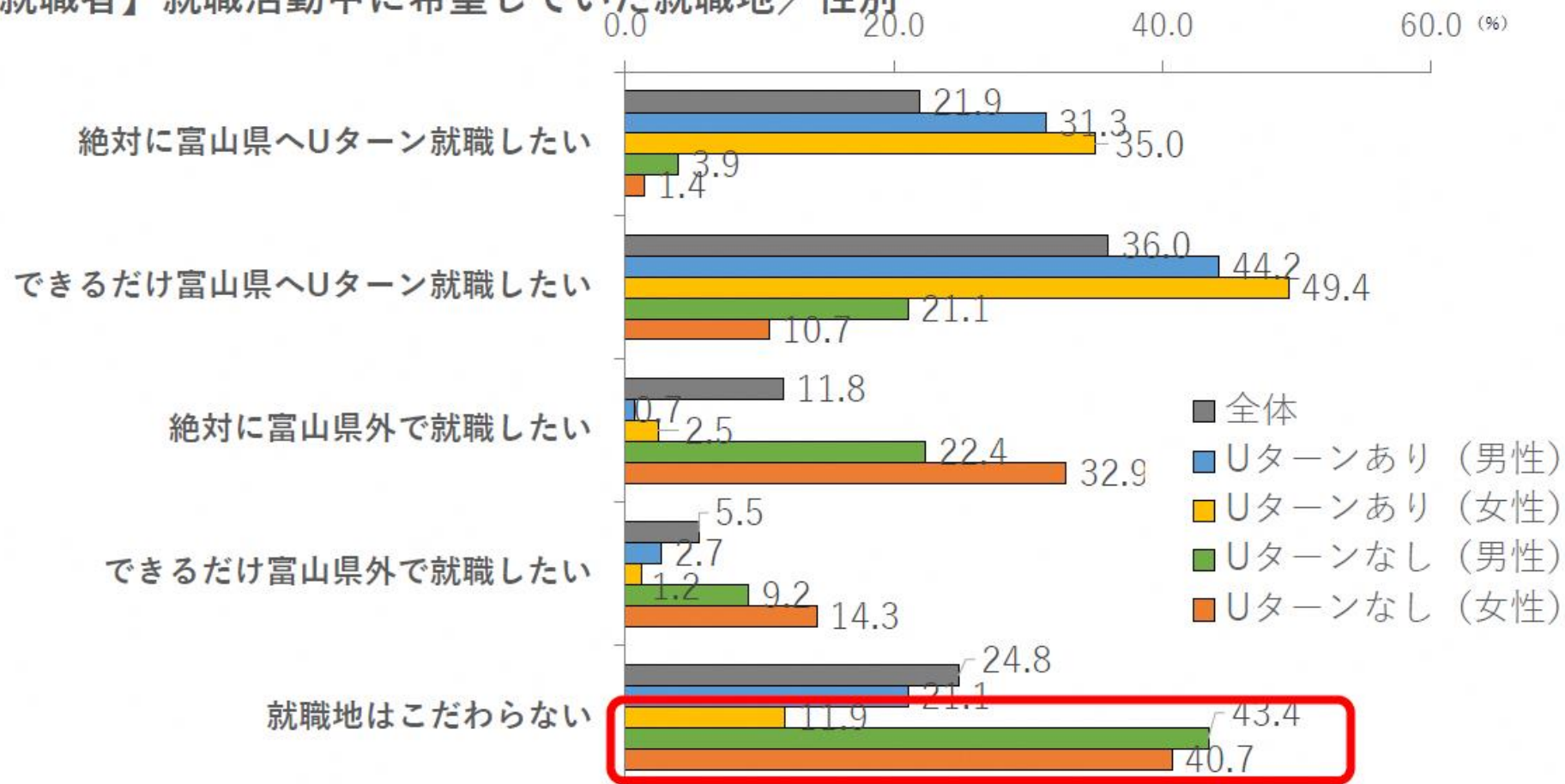
富山県にUターン就職しなかった理由（複数回答）上位項目

		全体 N = 223	男性 N = 76	女性 N = 140	男一女 = 差
1	現在の居住地の方がプライベートで刺激が得られるから	40.4	34.2	42.9	8.7
2	富山県に志望する業種がなかったから	28.7	19.7	33.6	13.9
3	富山県に志望する職種がなかったから	25.1	21.1	27.1	6.0
4	地元や親元を離れたかったから	24.2	22.4	22.9	0.5
5	富山県は買い物や交通など日常生活が不便だから	24.2	17.1	28.6	11.5
6	富山県は閉鎖的な感じがするから	23.8	25.0	23.6	▲ 1.4
7	規模の大きな企業に就職したかったから	21.5	27.6	18.6	▲ 9.0
8	富山県では希望するキャリアを形成できないと感じたから	19.7	17.1	22.1	5.0
9	現在の居住地に家族や恋人、友人がいるから	18.8	11.8	23.6	11.8
10	志望する企業で富山県で働く環境がなかったから	15.7	19.7	13.6	▲ 6.1
11	富山県より仕事とプライベートの両立がしやすいと思ったから	14.3	7.9	18.6	10.7
12	富山県に希望する収入の仕事がなかったから	12.6	17.1	10.7	▲ 6.4

令和4年度Uターン就職に関するアンケート調査（県労働政策課）

Uターン就職しなかった学生の約4割が、
就職活動時において就職地に対する意向はまだ定まっていない。

【就職者】 就職活動中に希望していた就職地／性別



富山県にUターンした（を希望する）理由

Uターンの理由 ランキング

1位 実家から通えて経済的に楽

2位 地元が好き

3位 両親や祖父母の
近くで生活したい

4位 志望企業がある

5位 仕事とプライベートを
両立させたい

富山県商工労働部 労働政策課「富山県Uターン就職ガイド（令和5年度版）」11頁

大学生×富山で働く女性ホンネトーク！in関西大学

関西大学社会学部濱貴子准教授のゼミと連携し、富山県出身大学生のキャリア形成の変容に係る意識調査を実施するにあたり、その一環として、関西圏在住富山県出身大学生等と関西大学社会学部濱貴子准教授ゼミ生との交流イベントを開催

日 時：令和7年6月17日（火）18時～20時

場 所：関西大学梅田キャンパス7階701

参加者：富山県出身大学生等：4名

濱准教授ゼミ生：15名

【ゲストトーク】富山県内企業等の女性社員等
（とやま女性活躍企業等）

【ファシリテーター】HATCH 三浦 真奈 氏



■グループワークでの参加者の主な意見

- ・ **男女ともに活躍でき働きやすい環境**や、就職先に限らず、休日の過ごし方や遊びに行く場などの**選択肢が多くあれば富山に戻りたい**。
- ・ 富山は祖父母同居や地域のつながりから、仕事と子育ての両立がしやすいのでは。
- ・ **ワークライフバランスを重視**しつつ、**自分が成長できる環境**があったら良い。
- ・ **フレックス制度や休暇の取りやすさ等働きやすい職場であるかを就職先を選ぶうえで重要視**する。¹

富山県「大学生×富山で働く女性ホンネトーク！」
in関西大学（2025.6.17）

これまでの調査からの課題と本研究の目的

【課題】

従来の定量的なアンケート調査では、全体傾向は把握できるが、学生本人の生き様や価値観などは把握できない点。

→インタビュー形式で一人一人に焦点を当て、本音部分を深く掘り下げれば、若者の価値観に直接訴えかける効果的な施策が考えられないか？

【本研究の目的】

インタビュー調査から、富山県出身大学生のキャリア形成に関する意識や変容の実態を把握する

リサーチクエスションと仮説

【リサーチクエスション】

- ・「Uターンしない」／「Uターンする」と判断に至った就職意識の
変容過程や決定的な要因は何なのか？

＊対象者：就職内定後の方＋就職前の方→希望も含めて分析

→女性特有の傾向はみられるのか？

【仮説】

①「Uターンしない」と判断に至った要因・変容過程

仮説1) 【仕事】

- 〔個人の意識〕 ・ 富山県よりも大都市部の方が条件のよい仕事があるから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲から大都市部での就職を勧められたから

仮説2) 【生活】

- 〔個人の意識〕 ・ 富山県よりも大都市部の方が楽しく便利に暮らせると思うから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲からのサポートを期待できない（望まない）ため

仮説3) 【人間関係】

- 〔個人の意識〕 ・ 富山県よりも大都市部の方がしがらみに煩わされず自由にふるまえるから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲からの大都市部で暮らしてほしいという思いに影響を受けたから

【仮説】

②「Uターンする」と判断に至った要因・変容過程

仮説1) 【仕事】

- 〔個人の意識〕 ・ 大都市部よりも富山県の方が自分に適した仕事があるから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲から話を聞いて富山県での就職に魅力を感じたから

仮説2) 【生活】

- 〔個人の意識〕 ・ 大都市部よりも富山県の方が平穏に暮らせると思うから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲からの生活のサポートを受けられるから

仮説3) 【人間関係】

- 〔個人の意識〕 ・ 大都市部よりも富山県の方が自分を大切にしてくれる関係性のなかで安心してふるまえるから
- 〔周囲からの影響〕 ・ 周囲からの富山に戻ってきてほしいという思いから影響を受けたから

→特に女性で多く語られる傾向にあると考えられる仮説

①「Uターンしない」と判断に至った要因・変容過程

仮説3) 【人間関係】

〔個人の意識〕・富山県よりも大都市部の方がしがらみに煩わされず自由にふるまえるから

…「自由さ」を重視する傾向が強いのではないか

②「Uターンする」と判断に至った要因・変容過程

仮説2) 【生活】

〔周囲からの影響〕・周囲からの生活のサポートを受けられるから

…「安心」「ケア」を重視する傾向が強いのではないか

研究の意義

- 社会的意義

富山県での若者の転出超過の原因を探るべく個人へのアプローチを中心に研究を進め実態を探ることで、若者に対する具体的な施策を作る際の参考になればよい。

- ゼミ生・個人としての意義

これから将来を見据えていく上で、自分とは全く違う立場に置かれた学生の話进行深入聞いていくことで、自分自身のキャリア形成を見つめ直すきっかけとなる。

2. 方法

半構造化面接でキャリア形成意識の変容を尋ねる。

- ＊ 「子どものころから中学までの時期」「高校から大学進学までの時期」「大学入学以降」「大学卒業後」の4つの時期に分けて尋ねた
- ＊ 「個人の意識」と「周囲からの影響」の2つの側面から尋ねた
- ＊ 「就職前の方用」「就職内定後の方用」の2つの質問項目リストを作成

【具体的手順】

- ①調査対象者の募集
- ②用意した質問項目リスト（後述）を半構造化面接で尋ねた
- ③結果を持ち寄って、キャリア形成意識を整理
- ④整理した結果と仮説の適否を確認し、考察を行った

調査対象者

調査順	仮名	学年	性別	日時	時間	調査会場	担当
1	佐藤さん	3	男性	11月2日（土）	17:00-18:00	国立駅前喫茶店	永田
2	鈴木さん	3	男性	11月13日（木）	11:00-12:00	千里山キャンパスB501(B)	小田西田
3	高橋さん	2	女性	11月13日（木）	16:30-17:30	千里山キャンパスB501(C)	小林 濱
4	田中さん	4	男性	11月14日（金）	17:00-18:00	千里山キャンパスB501(B)	安井 濱
5	伊藤さん	1	男性	11月15日（土）	10:30-11:30	千里山キャンパスB501(C)	吉川西上
6	渡辺さん	M2	女性	11月17日（月）	14:00-15:00	千里山キャンパスB501(B)	落合原田
7	山本さん	2	女性	11月17日（月）	15:00-16:00	千里山キャンパスC503	北西 間
8	中村さん	M2	女性	11月18日（火）	16:30-17:30	千里山キャンパスB501(B)	井川永田
9	小林さん	4	男性	11月19日（水）	12:30-13:30	千里山キャンパスB501(B)	井川 濱
10	加藤さん	1	女性	11月19日（水）	13:30-14:30	千里山キャンパススタバ	小谷吉迫
11	吉田さん	3	女性	11月20日（木）	15:30～16:30	オンライン	間 小田
12	山田さん	4	女性	11月22日（土）	13:30-14:30	千里山キャンパスB501（B）	北西西上
13	佐々木さん	2	女性	11月28日（金）	13:00～14:00	オンライン	吉迫 濱
14	山口さん	3	女性	12月2日（水）	16:30-17:30	千里山キャンパスB501(C)	飯田池田

調査協力者の募集方法

- ・ 県主催のイベント（2024年12月27日実施）
- ・ 関西大学キャリアセンターのご協力（2025年5月30日メール周知）
- ・ 県主催・関西大学濱ゼミ協力のイベント（2025年6月17日）
- ・ 濱ゼミ学生の友人・知り合いへの依頼

質問項目リスト（就職前の方/内定後の方：共通）

	個人の思い・意識	周囲からの影響
子どものころから中学までの時期	・子どものころの将来の夢は何でしたか。 ・子どものころ、生活環境にどのくらい満足していましたか。大きくなっても富山で暮らしたいと思っていましたか。 ・子どものころ、県外へ行く機会はどれくらいありましたか。どんなところに行って、どんな経験をしましたか。 ・高校への進路選択に関して、具体的に考え始めたのはいつごろですか。高校の選択肢はどれくらいありましたか。	・将来の夢について家族やきょうだい、友人からの影響はそれぞれどれくらいありましたか。 ・子どものころ、家族や周囲の人の働き方・暮らし方・人間関係をみてどのように感じていましたか。 ・周囲に県外で暮らしている人や、県外で暮らした経験がある人はどれくらいいましたか。 ・家族や周囲の人はあなたの教育にどれくらい関心を持っていましたか。よかった点、いやだった点などあれば教えてください。 ・中学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。
高校から大学進学までの時期	・大学進学にあたって、どんなことを大事にしましたか。 ・大学進学にあたって、富山を出て、現在の大学・学部に進学した経緯について教えてください。 ・県外の大学への進学に憧れはありましたか。あったとしたらどのような憧れがありましたか。 ・いつごろから富山を出ようと考えていましたか。きっかけなどもあったら教えてください。	・高等学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。 ・あなたが通った高校の就職率・進学率の割合はどれくらいでしたか。 ・大学進学にあたって、家族や友人、先生からの影響はそれぞれどれくらいありましたか。 ・県外の大学に進学するとき、家族や友人、先生からの反応はどのようなものでしたか（反対／肯定的など）。
大学入学以降	・大学に入学してから熱心に取り組んだことは何ですか。その経験はご自身のキャリアを描くにあたってどのような影響を与えてくれていますか。 ・大学入学後、富山にはどれくらいの頻度で帰省していますか。 ・働くうえで、どんなことを重視していきたいと考えていますか。	・大学入学後、富山県に暮らしている友だちとはどれくらいの頻度で会っていますか。また、富山県出身の県外で暮らしている友だちとはどれくらいの頻度で会っていますか。 ・あなたの希望する職種や働き方について、家族はどんな考えを持っていますか。 ・今お住まいの地域と富山で、生活するうえで感じる人間関係に関する大きな違いはどんなことですか。それぞれの人間関係のいい点、いやな点を教えてください。
大学卒業後	・大学卒業後、どんな生活をしていきたいと考えていますか。 ・富山へのUターンについて考えていますか。	・家族や友達はあなたの希望する生活についてどんな考えを持っていますか。 ・富山に暮らす家族・友人とはどんな距離感で生活していけたらいいなと考えていますか。

質問項目リスト（就職前の方/内定後の方：独自項目）

就職前の方	個人の思い・意識	周囲からの影響
大学入学以降	・どんな仕事（職種）に就こうと考えていますか。 ・働く場所について、どこで働きたいと考えていますか。	—

内定後の方	個人の思い・意識	周囲からの影響
大学入学以降	・大学卒業後、どんな仕事（職種）に就くのですか。 ・働く場所について、どこで働きますか。 ・就職活動前・就職活動中・就職活動後でどのような心境の変化がありましたか。	—

調査・分析期間

- ・インタビュー調査は2025年11月1日～12月2日にかけて、14人を対象に1時間程度、基本的に2人1組で1人の方に行った
 - ＊うち対面調査12名、オンライン調査2名
- ・インタビューデータの文字起こしを次のとおり行った
 - ＊7名は、「AutoMemo」の自動文字起こし機能を教員が利用し文字データを取得したのち、濱ゼミ学生が音声データと照合しながら文字データのクリーニングを行った（11月上旬～下旬）
 - ＊7名は、文字起こしの専門業者に委託した（2025年12月上旬～1月上旬）
- ・結果の整理と考察は、11月25日～12月23日授業と課外において行った
- ・その後、1月27日までの間に、最終的な結果をスライドにまとめた
- ・1月28日に発表のリハーサルを行った

3. 結果

【子どものころから中学までの時期】

1. 子どものころの将来の夢は何でしたか、成長するにつれて、どのように変化していききましたか。

調査順	仮名	学年	性別	将来の夢	変化
1	佐藤さん	3	男性	野球選手	野球選手をあきらめる
2	鈴木さん	3	男性	サッカー選手	サッカー選手をあきらめる
3	高橋さん	2	女性	ケーキ屋さん	公務員
4	田中さん	4	男性	教員	公務員
5	伊藤さん	1	男性	消防士	エンジニアになりたい
6	渡辺さん	M2	女性	助産師	物理、化学を学びたい
7	山本さん	2	女性	薬剤師	明確にはなし
8	中村さん	M2	女性	薬剤師	薬剤師をあきらめる
9	小林さん	4	男性	寿司職人	明確にはなし
10	加藤さん	1	女性	パン屋さん	明確にはなし
11	吉田さん	3	女性	小学校の先生	明確にはなし
12	山田さん	4	女性	臨床検査技師	公務員
13	佐々木さん	2	女性	イルカショーのトレーナー	水泳選手
14	山口さん	3	女性	明確にはなし、都会に憧れあり	ホテルマン

【子どものころから中学までの時期】

1. 子どものころの将来の夢は何でしたか、成長するにつれて、どのように変化していききましたか。

- ・まとめ

- ・ 回答者のほとんどが幼少期からの夢に変化があった。

- ・ 注目する結果の「語り」

- ・ （高橋さん・田中さん・山田さん）公務員…親の職業の影響

- ・ （山本さん・小林さん・加藤さん・吉田さん）

明確にはなし…職業に対しての具体的なイメージなし

【子どものころから中学までの時期】

2. 子どものころ、生活環境にどのくらい満足していましたか。大きくなっても富山で暮らしたいと思っていましたか。成長するにつれて、どのように変化していききましたか。

調査順	仮名	学年	性別	生活環境への満足度	変化
1	佐藤さん	3	男性	十分満足	大学生になり不便さ実感
2	鈴木さん	3	男性	満足	特に変化なし
3	高橋さん	2	女性	不満はなく満足	人間関係の狭さから不便
4	田中さん	4	男性	満足はしているが都会に憧れ	富山も満足、大阪も満足
5	伊藤さん	1	男性	富山に永住は考えていない	都会の方が様々な場所がある
6	渡辺さん	M2	女性	家族、友達がいるから満足	遊ぶ場所がないと感じるように
7	山本さん	2	女性	十分満足	遊ぶ場所がないと感じるように
8	中村さん	M2	女性	満足	県外に行きたいと思う
9	小林さん	4	男性	十分満足	大阪の方が便利で暮らしやすい
10	加藤さん	1	女性	都会に憧れがあった	大阪に来て富山の良さが分かった
11	吉田さん	3	女性	公共交通機関で不便	富山の良さに気付く
12	山田さん	4	女性	十分満足	何もないのが富山の良いところ
13	佐々木さん	2	女性	満足	中学生ごろから限度を知る
14	山口さん	3	女性	都会への憧れがある	都会へのあこがれが大きくなる

【子どものころから中学までの時期】

2. 子どものころ、生活環境にどのくらい満足していましたか。大きくなっても富山で暮らしたいと思っていましたか。成長するにつれて、どのように変化していききましたか。

・まとめ

- ・中学生ごろから富山県での暮らしに関する満足度に変化が出てくる。
- ・都会に進学することによって富山県の良さを感じる回答者が一定数存在した。

・注目する結果の「語り」

- ・（小林さん）大阪の方が便利で暮らしやすい
- ・（加藤さん・吉田さん）何もないのが富山の良いところ

【子どものころから中学までの時期】

3.子どものころ、県外へ行く機会はどれくらいありましたか。どんなところに行って、どんな経験をしましたか。

調査順	仮名	学年	性別	県外へ行く機会	場所・経験
1	佐藤さん	3	男性	年に1.2回	大阪、鹿児島への旅行、祖母宅
2	鈴木さん	3	男性	年に1回程度	夏に岐阜へキャンプへ、都会△
3	高橋さん	2	女性	年に1.2回	テーマパーク、部活動の遠征
4	田中さん	4	男性	週に1回	東京、金沢、福井(観光名所)
5	伊藤さん	1	男性	年に1回	金沢などに家族旅行
6	渡辺さん	M2	女性	年に3回程度	東京でプロ野球観戦、家族旅行
7	山本さん	2	女性	数回	北陸圏へ祖父母宅
8	中村さん	M2	女性	年に2回	家族旅行
9	小林さん	4	男性	回答無し	東京、岐阜、長野(家族旅行)
10	加藤さん	1	女性	年に2.3回	岐阜、東京
11	吉田さん	3	女性	月に1回	金沢にてバスケの試合、旅行
12	山田さん	4	女性	年に2回	長野へ旅行
13	佐々木さん	2	女性	月に1回	岐阜、長野、和歌山(キャンプ)
14	山口さん	3	女性	年に1回以上	回答無し

【子どものころから中学までの時期】

3.子どものころ、県外へ行く機会はどれくらいありましたか。どんなところに行って、どんな経験をしましたか。

- ・まとめ

- ・年に1.2回と回答する方が多く、県外への移動は盛んであるとは言えない。
- ・東京などの都市圏や、金沢、岐阜など歴史的観光地等、行き先が広い。

- ・注目する結果の「語り」

- ・(田中さん)週に一回 東京、金沢、福井(観光名所)

【子どものころから中学までの時期】

4. 高校への進路選択に関して、具体的に考え始めたのはいつごろですか。高校の選択肢はどれくらいありましたか。

調査順	仮名	学年	性別	高校の進路：考え始めた時期	高校の選択肢
1	佐藤さん	3	男性	中学三年生の7月ごろ	二つ(県内)
2	鈴木さん	3	男性	中学三年生の秋ごろ	県外の選択肢はなかった
3	高橋さん	2	女性	中学三年生	県外の選択肢はなかった(3,4校)
4	田中さん	4	男性	中学三年生の夏休み～秋	回答無し
5	伊藤さん	1	男性	高校入試の二か月程度前から	数は限られている
6	渡辺さん	M2	女性	中学二年生の頃	二つ
7	山本さん	2	女性	中学三年生の頃	県立公立か私立
8	中村さん	M2	女性	中学二年生の頃	三つほど
9	小林さん	4	男性	中学三年生の頃	県内一つ、私立一つ、計二つ
10	加藤さん	1	女性	中学三年生の頃	二つほど
11	吉田さん	3	女性	中学三年生の夏頃	スポーツか学びたいことの二択
12	山田さん	4	女性	中学三年生の頃	学区により地域で決まっていた
13	佐々木さん	2	女性	中学三年生の春ごろ	私立と県立で一校ずつ
14	山口さん	3	女性	中学に入ってから	10個あり、最終二つに絞った

【子どものころから中学までの時期】

4. 高校への進路選択に関して、具体的に考え始めたのはいつごろですか。高校の選択肢はどれくらいありましたか。

・まとめ

- ・ほとんどの回答者が中学三年生の頃に、高校への進路について考え始めている
 - ・選択肢について、県外の高校に進学しようとする回答者はいなかった。
 - ・県内での進学となるため、選択肢が絞られ、二択であると回答する回答者が多かった。
-
- ・注目する結果の「語り」
 - ・(山口さん)中学に入ってから 10個ある中から 2つに絞った

【子どものころから中学までの時期】

5. 将来の夢について家族やきょうだい、友人からの影響はそれぞれどれくらいありましたか。成長するにつれて、どのように変化しましたか。

調査順	仮名	学年	性別	将来の夢：周囲からの影響	変化
1	佐藤さん	3	男性	クラスの友人	高校の先生からの影響あり
2	鈴木さん	3	男性	回答無し	回答無し
3	高橋さん	2	女性	高校のスポーツ科に入るまでなし	先生からの影響あり
4	田中さん	4	男性	家族からの影響なし	回答無し
5	伊藤さん	1	男性	自発的に夢を持ったので影響なし	回答無し
6	渡辺さん	M2	女性	七個下の弟の影響で助産師になりたかった	回答無し
7	山本さん	2	女性	家族と話し職業の候補が増えた	回答無し
8	中村さん	M2	女性	進学に関して、父からの影響あり	回答無し
9	小林さん	4	男性	回答無し	回答無し
10	加藤さん	1	女性	回答無し	回答無し
11	吉田さん	3	女性	家族は教師の職に賛同していなかった	回答無し
12	山田さん	4	女性	公務員の両親からの影響あり	「14の挑戦」で臨床検査技師を知る
13	佐々木さん	2	女性	夢はずっと変わらない	回答無し
14	山口さん	3	女性	やりたいことがある友人と自分を比べていた	家族は県外に行くのを後押ししていた

【子どものころから中学までの時期】

5. 将来の夢について家族やきょうだい、友人からの影響はそれぞれどれくらいありましたか。成長するにつれて、どのように変化しましたか。

・まとめ

- ・ほとんどの人は将来の夢や進路に関して影響がなかったが、影響があると答えた人は、親か学校の教師の影響があったと答えた人が多かった。

・注目する結果の「語り」

- ・（山田さん）「14歳の挑戦」という仕事体験で臨床検査技師を知りました。
- ・（渡辺さん）弟が7個下で面倒を見ていく中で、助産師になりたい気持ち萌芽が芽生えた。

【子どものころから中学までの時期】

6. 子どものころ、家族や周囲の人の働き方・暮らし方・人間関係をみてどのように感じていましたか。

調査順	仮名	学年	性別	周囲の人の働き方・暮らし方・人間関係の印象
1	佐藤さん	3	男性	回答無し
2	鈴木さん	3	男性	回答無し
3	高橋さん	2	女性	回答無し
4	田中さん	4	男性	父親の残業が多く、定時で帰りたい思いが強くなった
5	伊藤さん	1	男性	仕事熱心な人が多い
6	渡辺さん	M2	女性	回答無し
7	山本さん	2	女性	楽しそう
8	中村さん	M2	女性	回答無し
9	小林さん	4	男性	親の働く姿を見て大変そうだった
10	加藤さん	1	女性	回答無し
11	吉田さん	3	女性	両親は忙しくよく祖父母に預けられていたので、子供と関われる時間を作りたいと考えるようになった
12	山田さん	4	女性	母親の仕事はしんどそうだったので父親の仕事に興味を持った
13	佐々木さん	2	女性	回答無し
14	山口さん	3	女性	回答無し

【子どものころから中学までの時期】

6. 子どものころ、家族や周囲の人の働き方・暮らし方・人間関係をみてどのように感じていましたか。

- ・まとめ

- ・ 両親の働く姿を見て、「定時に帰れる」、「子供との時間を作る」などワークライフバランスについて考える人が多い傾向があった。

- ・ 注目する結果の「語り」

- ・ （吉田さん）両親は忙しく、祖父母に預けられていた。

【子どものころから中学までの時期】

7. 周囲に県外で暮らしている／暮らした経験がある人はどれくらいいましたか。交流頻度はどれくらいありましたか。どのくらい自分の将来の夢に影響を受けましたか。

調査順	仮名	学年	性別	周囲の県外生活経験		交流頻度・将来の夢への影響	
1	佐藤さん	3	男性	○	父親	月に一回	影響なし
2	鈴木さん	3	男性	○	転校生	回答なし	
3	高橋さん	2	女性	○	友人	年に一回	影響あり
4	田中さん	4	男性	○	友人や姉	年に三回	影響あり
5	伊藤さん	1	男性	○	転校生	回答なし	
6	渡辺さん	M2	女性	○	父親	×	影響なし
7	山本さん	2	女性	×	なし	—	
8	中村さん	M2	女性	○	父親やいところ	年に三回	影響なし
9	小林さん	4	男性	○	親戚	×	影響なし
10	加藤さん	1	女性	×	なし	—	
11	吉田さん	3	女性	×	なし	—	
12	山田さん	4	女性	○	いところ	年に二回	影響なし
13	佐々木さん	2	女性	○	いところ	×	影響あり
14	山口さん	3	女性	○	両親	年に一回	影響なし

【子どものころから中学までの時期】

7. 周囲に県外で暮らしている／暮らした経験がある人はどれくらいいましたか。交流頻度はどれくらいありましたか。どのくらい自分の将来の夢に影響を受けましたか。

まとめ

- ・ 調査対象 14名中、10名が「周囲に県外生活経験者がいる」と回答
- ・ 交流頻度は年1回～2・3回程度が多く、継続的・密な関係は少ない傾向
- ・ 将来の進路や夢への影響については、「影響なし」が多数派

影響があったと回答したのは10名中3名 （女性2名・男性1名）

→周囲に県外生活経験者がいても、その存在が必ずしも進路選択やUターン意識に影響するわけではないことが明らかになった。

注目する結果の「語り」

- ・ 影響が見られたケース →友人・姉・いとこなど、年齢の近い存在からの影響
 - ・ 影響が見られにくいケース →父親・両親・親戚など親世代の県外経験は、進路選択と結びつきにくい傾向
- 自身の将来像を重ねやすい相手ほど、進路意識に結びつきやすい可能性

【子どものころから中学までの時期】

8. 家族や周囲の人はあなたの教育にどれくらい関心を持っていましたか。よかった点、いやだった点などあれば教えてください。

調査順	仮名	学年	性別	周囲：自身の教育への関心	よかった点	嫌だった点
1	佐藤さん	3	男性	両親：高い	放任してくれた	×
2	鈴木さん	3	男性	母親：高い	×	携帯没収
3	高橋さん	2	女性	両親：普通	自主性を尊重	×
4	田中さん	4	男性	母親：高い	×	×
5	伊藤さん	1	男性	両親：高い	律してくれた	×
6	渡辺さん	M2	女性	両親：高い	放任してくれた	×
7	山本さん	2	女性	両親：低い	×	×
8	中村さん	M2	女性	両親：高い	×	×
9	小林さん	4	男性	両親：普通	飴と鞭があった	×
10	加藤さん	1	女性	両親：普通	放任してくれた	×
11	吉田さん	3	女性	母親や祖母：高い	塾への送迎	×
12	山田さん	4	女性	両親：普通	放任してくれた	×
13	佐々木さん	2	女性	両親や先生：高い	経済や精神面	×
14	山口さん	3	女性	両親：高い	×	期待故のプレッシャー

【子どものころから中学までの時期】

8. 家族や周囲の人はあなたの教育にどれくらい関心を持っていましたか。よかった点、いやだった点などあれば教えてください。

・まとめ

教育的関心が【高い】が圧倒的多数

全14名中9名が、両親や母親からの高い関心を受けていたと回答。

【普通】：4名【低い】：わずか1名（山本さん）

→ 周囲の関心が高いことは、必ずしも「束縛」とは捉えられておらず、むしろポジティブな側面として語られるケースが多かった。

・注目する結果の「語り」

多くの回答者が、関心が高い中でも「放任してくれた」ことをメリットとして挙げている。

（佐藤さん、渡辺さん、加藤さん、山田さん）

一方で、具体的な介入についてはネガティブな反応が見られました。

・（鈴木さん）母親の関心が高く、「携帯没収」を嫌がっていた。

・（山口さん）両親の関心が高く、「期待故のプレッシャー」が負担になっていた。

→ 「関心の高さ」≠「過干渉」であり、

子どもが良いと感じるのは、親が関心を持ちつつも適度な距離感を保ち、「自主性を尊重」したり信頼して「放任」してくれる関わりであることが分かった。

【子どものころから中学までの時期】

9. 中学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。

調査順	仮名	学年	性別	中学校における先生からの進路指導
1	佐藤さん	3	男性	回答なし
2	鈴木さん	3	男性	回答なし
3	高橋さん	2	女性	私立高校も受験しろと言われた
4	田中さん	4	男性	模試の結果を参考としていた
5	伊藤さん	1	男性	あまり親身になってくれなかった
6	渡辺さん	M2	女性	回答なし
7	山本さん	2	女性	いい高校を目指すという雰囲気はあった
8	中村さん	M2	女性	基本的には放任
9	小林さん	4	男性	行きたい高校に向けて親身にアドバイスしてくれた
10	加藤さん	1	女性	塾の先生のほうがよく考えてくれた
11	吉田さん	3	女性	推薦で決める人が多いので、そちらを推す
12	山田さん	4	女性	受験前日に同じ高校を受ける人たちが集められる
13	佐々木さん	2	女性	回答なし
14	山口さん	3	女性	志望校を絞ってくれた

【子どものころから中学までの時期】

9. 中学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。

- ・まとめ

- ・ 指導の内容は中学によって特色がある

- ・ 概ねが親身な指導を受けている一方、「あまり親身になってくれなかった」という声も

- ・ 注目する結果の「語り」

- ・ （小林さん）行きたい高校へ向けて、「～したほうがよい」とアドバイスをもらった

- ・ （伊藤さん）中学はそこまで親身になってくれなかった

【高校から大学進学までの時期】

10. 大学進学にあたって、どんなことを大事にしましたか。

調査順	仮名	学年	性別	大学進学にあたって大事にしたこと
1	佐藤さん	3	男性	高偏差値であること
2	鈴木さん	3	男性	京都の大学であること
3	高橋さん	2	女性	自分自身の思うような形で決めること
4	田中さん	4	男性	高偏差値かつ都会であること
5	伊藤さん	1	男性	遊びと勉強を両立すること
6	渡辺さん	M2	女性	都会であること
7	山本さん	2	女性	関東or関西の大学であること
8	中村さん	M2	女性	やりたい学問や資格を勉強でき、かつ北陸でないこと
9	小林さん	4	男性	自分がやりたい学部があること
10	加藤さん	1	女性	良い就職先につけること
11	吉田さん	3	女性	関関同立・MARCH以上であること
12	山田さん	4	女性	関西の大学であること
13	佐々木さん	2	女性	様々な経験が出来ること
14	山口さん	3	女性	やりたい学問を勉強できる環境があること

【高校から大学進学までの時期】

10. 大学進学にあたって、どんなことを大事にしましたか。

・まとめ

- ・「都会であること」「偏差値が高いこと」「やりたい学問を学べること」を重視する人が多い
- ・「地元ないしは地元に近いこと」を重視する回答者は見られず
- ・注目する結果の「語り」
 - ・（渡辺さん）太平洋側に出て、都会の暮らしをしたい
 - ・（中村さん）実家から離れた場所で一人暮らしをしたい

【高校から大学進学までの時期】

11.大学進学にあたって、富山を出て、現在の大学・学部に進学した経緯について教えてください。

調査順	仮名	学年	性別	富山を出て、現在の大学に進学した経緯
1	佐藤さん	3	男性	東大と悩んでいて、浪人したくなかったから
2	鈴木さん	3	男性	富山の大学は3つほどしかなく、富山での進学は考えていなかったから
3	高橋さん	2	女性	関関同立という名前で知った
4	田中さん	4	男性	公務員に強いから
5	伊藤さん	1	男性	指定校推薦（先生や大阪の友人から勧められたから）
6	渡辺さん	M2	女性	たまたま問題集を解いていた
7	山本さん	2	女性	高校時代の部活を活かしてAO受験できるところだった
8	中村さん	M2	女性	東京は行きたくなかったため、関西か愛知で考えていた
9	小林さん	4	男性	就職を意識して選んだ
10	加藤さん	1	女性	指定校推薦の商学部が関西大学しかなかった
11	吉田さん	3	女性	姉が同じ大学
12	山田さん	4	女性	姉が関西大学、父が大学のパンフレットを持ってきたことがきっかけ
13	佐々木さん	2	女性	父と兄が京都の大学
14	山口さん	3	女性	学びたい学問や資格が関西にしかなかったから

【高校から大学進学までの時期】

11.大学進学にあたって、富山を出て、現在の大学・学部に進学した経緯について教えてください。

- ・まとめ

- ・ 家族が関西圏の大学に進学しているという人が一定数いた

- ・ 指定校推薦やAO受験で関西の大学が選択肢にあった

- ・ 注目する結果の「語り」

- (吉田さん) 姉も同じ大学で頼れる人がいた方がいいという考えもあった

- (加藤さん) 指定校推薦の商学部が関西大学のみ

【高校から大学進学までの時期】

12.県外の大学への進学に憧れはありましたか。どのような憧れがありましたか。

調査順	仮名	学年	性別	県外大学進学への憧れ：有無	憧れの内容
1	佐藤さん	3	男性	有	新しいこと(都会に出ること、1人暮らしすること)
2	鈴木さん	3	男性	回答なし	
3	高橋さん	2	女性	有	とりあえず富山を出たかった
4	田中さん	4	男性	回答なし	
5	伊藤さん	1	男性	有	最も自由な時期である大学生を県外で過ごしたい
6	渡辺さん	M2	女性	有	違う環境で生活してみたい
7	山本さん	2	女性	有	富山に飽きたため、新しい経験がしたかった
8	中村さん	M2	女性	有	ライブなどのイベント
9	小林さん	4	男性	有	テレビで見る大阪や東京の人が楽しそうに見えた
10	加藤さん	1	女性	有	回答なし
11	吉田さん	3	女性	有	一人暮らしをして、親に干渉されず自由になりたい
12	山田さん	4	女性	無	回答なし
13	佐々木さん	2	女性	有	関西の大学の先輩のSNS
14	山口さん	3	女性	有	回答なし

【高校から大学進学までの時期】

12.県外の大学への進学に憧れはありましたか。どのような憧れがありましたか。

- ・まとめ

- ・ 都会に出ることよりも、一人暮らしや新たな環境に対する憧れが強い
- ・ 富山を出たいという理由から県外への憧れを持つ人もいた

- ・ 注目する結果の「語り」

（吉田さん）一人暮らしをして、親に干渉されず自由になりたい

（高橋さん）一刻も早く、とりあえず富山を出たかった

【高校から大学進学までの時期】

13.いつごろから富山を出ようと考えていましたか。きっかけもあったら教えてください。

調査順	仮名	学年	性別	富山を出ようと思った時期	きっかけ
1	佐藤さん	3	男性	高校2年生の10月	(回答なし)
2	鈴木さん	3	男性	(回答なし)	娯楽のなさ
3	高橋さん	2	女性	(回答なし)	(一つ目の大学を辞めるか考えたこと)
4	田中さん	4	男性	(回答なし)	(回答なし)
5	伊藤さん	1	男性	高校1年生	(回答なし)
6	渡辺さん	M2	女性	高校で進学を考え始めた時	(回答なし)
7	山本さん	2	女性	(回答なし)	大学受験
8	中村さん	M2	女性	高校生	(回答なし)
9	小林さん	4	男性	(回答なし)	関西大学と富山大学に受かった時
10	加藤さん	1	女性	大学進学時	(回答なし)
11	吉田さん	3	女性	大学進学時	(回答なし)
12	山田さん	4	女性	(回答なし)	大学進学
13	佐々木さん	2	女性	高校1年生	(回答なし)
14	山口さん	3	女性	高校生	(回答なし)

【高校から大学進学までの時期】

13.いつごろから富山を出ようと考えていましたか。きっかけもあったら教えてください。

・まとめ

大学進学を考え始める時期であることから、高校生になると富山を出ようとするようになる人が多い。

・注目する結果の「語り」

鈴木さん：富山を出ようと思ったきっかけ『娯楽の少なさ』

【高校から大学進学までの時期】

14. 高等学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。

調査順	仮名	学年	性別	高等学校における先生からの進路指導
1	佐藤さん	3	男性	成績的に可能性があるため東京大学をすすめられた。
2	鈴木さん	3	男性	(回答なし)
3	高橋さん	2	女性	県外に行った方が親のありがたみが分かると言われた。
4	田中さん	4	男性	地元国公立を目指した方がいいと言われた。 私立はあまりすすめられなかった。
5	伊藤さん	1	男性	(小論文や面接などの試験対策が中心だった)
6	渡辺さん	M2	女性	一人暮らしが当たり前の前提で、全国の大学をすすめられた。
7	山本さん	2	女性	県外に出るという選択肢を与えてくれた。
8	中村さん	M2	女性	自分のやりたいようにしてもらえた。
9	小林さん	4	男性	部活動の顧問は国公立をすすめた。 担任は行きたいところに行きなさいと応援してくれた。
10	加藤さん	1	女性	県外の大学はどうかと勧められた。
11	吉田さん	3	女性	私立なこともあり、自由だった。(推薦がほとんどだった)
12	山田さん	4	女性	東京大学に行きなさいと言われた。
13	佐々木さん	2	女性	国公立志向
14	山口さん	3	女性	(回答なし)

【高校から大学進学までの時期】

14. 高等学校における進路指導では先生からどのような指導を受けましたか。

- まとめ
 - 県外の大学をすすめる進路指導
 - 国公立志向の進路指導
- 注目する結果の「語り」
 - （渡辺さん）一人暮らしが当たり前の前提で、県外の大学をすすめられた。

【高校から大学進学までの時期】

15-1. あなたが通った高校の就職率・進学率の割合はどれくらいでしたか。

調査順	仮名	学年	性別	出身高校の就職率・大学進学率の割合
1	佐藤さん	3	男性	ほぼ100%進学
2	鈴木さん	3	男性	8割が進学、2割就職。
3	高橋さん	2	女性	普通科は9割進学、他は半分就職。
4	田中さん	4	男性	ほとんど進学。
5	伊藤さん	1	男性	進学が一般的。
6	渡辺さん	M2	女性	進学率100%。
7	山本さん	2	女性	進学が多数。
8	中村さん	M2	女性	県内、石川での就職あり。
9	小林さん	4	男性	進学率が非常に高い。
10	加藤さん	1	女性	就職3割、進学7割。
11	吉田さん	3	女性	進学組が多数。関関同立がボリューム層。
12	山田さん	4	女性	ほぼ100%進学。
13	佐々木さん	2	女性	進学率7割、就職率3割。
14	山口さん	3	女性	わからない（ただ次の質問にて200人中1人だけ進学しなかったと回答あり）

【高校から大学進学までの時期】

15-1. あなたが通った高校の就職率・進学率の割合はどれくらいでしたか。

- ・まとめ
 - ・大学進学率が非常に高い
 - ・特に普通科・進学校ではほぼ全員進学が一般的な傾向である
- ・注目する結果の「語り」
 - ・（佐藤さん）進学校だと必然的に進学が一般的に
 - ・（山口さん）就職する人はご家庭の事情がある方の場合あり

【高校から大学進学までの時期】

15-2. あなたが通った高校の就職率・進学率の割合はどれくらいでしたか。進学する人のうち、県外・県内の割合はどれくらいでしたか。

調査順	仮名	学年	性別	出身高校:就職・大学進学率割合	進学者：県外・県内割合
1	佐藤さん	3	男性	ほぼ100%進学。	県外7割、県内3割。
2	鈴木さん	3	男性	8割が進学，2割就職。	ほとんど県外。
3	高橋さん	2	女性	普通科は9割進学。他は半分就職。	7、8割が県外。
4	田中さん	4	男性	ほとんど進学。	県外7割。
5	伊藤さん	1	男性	進学が一般的。	県外6割。県内4割。
6	渡辺さん	M2	女性	進学率100%	回答無し
7	山本さん	2	女性	進学者多数。	県外が大多数。県内はわずか。
8	中村さん	M2	女性	県内、石川での就職あり。	回答無し
9	小林さん	4	男性	進学率が非常に高い。	県外4割、県内6割。
10	加藤さん	1	女性	就職3割、進学7割。	ほとんどが県外。
11	吉田さん	3	女性	進学組が多数。	県外9割。
12	山田さん	4	女性	ほぼ100%進学。	県外9割。
13	佐々木さん	2	女性	進学率7割、就職率3割。	県内6割、県外4割。
14	山口さん	3	女性	不明	3割県内。

【高校から大学進学までの時期】

15-2. あなたが通った高校の就職率・進学率の割合はどれくらいでしたか。進学する人のうち、県外・県内の割合はどれくらいでしたか。

- ・まとめ
 - ・進学者の「県外志向」が強い
- ・注目する結果の「語り」
 - ・（佐藤さん）もともと県外への憧れもあり、大学に進学するとなると県外の学校を見るように。（都会の生活・一人暮らしなど）
 - ・（吉田さん）周囲の人も県外志向で、学校の先生からも県内より県外の学校を薦められていた。
 - ・（田中さん）県内だと国立か、県立かで行ける学校が絞られ、そのほかは県外へ。

【高校から大学進学までの時期】

16.大学進学にあたって、家族や友人、先生からの影響はどれくらいありましたか。

調査順	仮名	学年	性別	進学時：家族の影響	進学時：友人の影響	進学時：先生の影響
1	佐藤さん	3	男性	回答なし	東大を目指す友人と共に勉強した	回答なし
2	鈴木さん	3	男性	回答なし	回答なし	回答なし
3	高橋さん	2	女性	金銭面	県外が多かった	回答なし
4	田中さん	4	男性	4割	6割。友人同様県外に行きたい	回答なし
5	伊藤さん	1	男性	回答なし	2、3割	7割
6	渡辺さん	M2	女性	特になし	特になし	特になし
7	山本さん	2	女性	回答なし	回答なし	回答なし
8	中村さん	M2	女性	心理学に向いているといわれた	心理学に向いているといわれた	回答なし
9	小林さん	4	男性	特になし	特になし	特になし
10	加藤さん	1	女性	回答なし	回答なし	県外進学を勧められた
11	吉田さん	3	女性	姉が大学に通っていた	回答なし	県内進学を勧められなかった
12	山田さん	4	女性	姉が関西の大学	特になし	回答なし
13	佐々木さん	2	女性	回答なし	大半が大学進学	専門学校の選択肢
14	山口さん	3	女性	幼い頃からレールを敷かれていたと感じる	回答なし	回答なし

【高校から大学進学までの時期】

16.大学進学にあたって、家族や友人、先生からの影響はそれぞれどれくらいありましたか。

- ・まとめ

- ・ 周囲からの強い影響は少ないが、友人や家族の進学先が進路選択の参考となっていた。

- ・ 注目する結果の「語り」

- ・ （田中さん）友人同様、県外進学したい。
- ・ （山田さん）姉が関西の大学に通っていた。

【高校から大学進学までの時期】

17.県外の大学に進学するとき、家族や友人、先生からの反応はどのようなものでしたか
（反対／肯定的など）。

調査順	仮名	学年	性別	県外進学：家族の反応	県外進学：友人の反応	県外進学：先生の反応
1	佐藤さん	3	男性	反対なし	反対なし	反対なし
2	鈴木さん	3	男性	回答なし	特になし	肯定的
3	高橋さん	2	女性	志望段階では反対、進学時は肯定的	回答なし	回答なし
4	田中さん	4	男性	回答なし	回答なし	回答なし
5	伊藤さん	1	男性	肯定的	肯定的	肯定的
6	渡辺さん	M2	女性	反対なし	反対なし	反対なし
7	山本さん	2	女性	肯定的	肯定的	肯定的
8	中村さん	M2	女性	肯定的	肯定的	肯定的
9	小林さん	4	男性	肯定的	肯定的	肯定的
10	加藤さん	1	女性	特になし	特になし	特になし
11	吉田さん	3	女性	否定／肯定されてない	否定／肯定されてない	否定／肯定されてない
12	山田さん	4	女性	肯定的	回答なし	回答なし
13	佐々木さん	2	女性	肯定的	悲しまれた	勉学に力を入れる必要があるといわれた
14	山口さん	3	女性	肯定的	特になし	特になし

【高校から大学進学までの時期】

17. 県外の大学に進学するとき、家族や友人、先生からの反応はどのようなものでしたか（反対／肯定的など）。

- ・まとめ

- ・全体として、県外進学には概ね肯定的であった。
- ・家族からの影響は、友人や先生と比較すると相対的に大きい傾向が見られた。

- ・注目する結果の「語り」

- ・（高橋さん）県外進学を志望段階では反対されていたが、進学決定後は応援してくれた。

【大学入学以降】

18.大学に入学してから熱心に取り組んだことは何ですか。その経験はご自身のキャリアを描くにあたってどのような影響を与えていますか。

調査順	仮名	学年	性別	大学入学後:熱心に取り組んだこと	キャリア展望への影響
1	佐藤さん	3	男性	野球	回答無し
2	鈴木さん	3	男性	オープンキャンパススタッフ	回答無し
3	高橋さん	2	女性	中学の部活指導と飲食アルバイト	回答無し
4	田中さん	4	男性	公共政策学を中心に履修した	公務員になるための履修だったが結果的に公務員にはならなかった
5	伊藤さん	1	男性	サークル・ハックアカデミーの短期留学	自分の視野を広げるきっかけになった
6	渡辺さん	M2	女性	研究	関係なしに色々な職種をみていた
7	山本さん	2	女性	学祭実行委員・ボランティア	回答無し
8	中村さん	M2	女性	オーケストラ部	回答無し
9	小林さん	4	男性	バドミントンサークル	社会人になって必要なコミュニケーション力がついた
10	加藤さん	1	女性	営業インターン	回答無し
11	吉田さん	3	女性	海外インターン	回答無し
12	山田さん	4	女性	アカペラサークル	回答無し
13	佐々木さん	2	女性	回答無し	回答無し
14	山口さん	3	女性	授業、手話サークル	回答無し

【大学入学以降】

18.大学に入学してから熱心に取り組んだことは何ですか。その経験はご自身のキャリアを描くにあたってどのような影響を与えてくれていますか。

まとめ

- ・サークルなどの課外活動に注力している人が多かった

注目する結果の「語り」

- ・（伊藤さん）ハックアカデミーの短期留学で視野が広がった
- ・（小林さん）サークル活動で社会に必要なスキルを養った

【大学入学以降】

19.大学入学後、富山にはどれくらいの頻度で帰省していますか。どんなときに富山に戻りたいなと思いますか。

調査順	仮名	学年	性別	大学入学後：富山への帰省頻度	戻りたくなる時
1	佐藤さん	3	男性	年に3回程度	回答無し
2	鈴木さん	3	男性	長期休暇に年3回程	回答無し
3	高橋さん	2	女性	長期休暇があれば帰っている	一人暮らしをしていて寂しくなった時
4	田中さん	4	男性	3ヶ月に1回	特にない
5	伊藤さん	1	男性	長期休暇のタイミング	お母さんの料理の味が恋しいとき
6	渡辺さん	M2	女性	長期休暇に年3回程度	みんなが帰省しているとき
7	山本さん	2	女性	長期休暇、年末年始	親の手料理が食べたくなったとき
8	中村さん	M2	女性	年2回、部活が無くなり最近は少し増えた	最初の頃は帰りたかった。自然が恋しかった
9	小林さん	4	男性	長期休暇に年3回	富山にいる友達に会いたくなったとき
10	加藤さん	1	女性	長期休暇	ほとんど毎日
11	吉田さん	3	女性	1.2ヶ月に1回	海鮮が食べたくなった時
12	山田さん	4	女性	長期休暇	回答無し
13	佐々木さん	2	女性	年に4.5回	親がいる安心感、海鮮が食べたくなったとき
14	山口さん	3	女性	年に3.4回	あんまりない

【大学入学以降】

19.大学入学後、富山にはどれくらいの頻度で帰省していますか。どんなときに富山に戻りたいなと思いますか。

まとめ

- ・ほとんどの人が長期休暇に帰省している。
- ・実家の味や海鮮が食べたくなった時に戻りたくなる傾向がある。

注目する結果の「語り」

- ・（中村さん）富山の自然が恋しくなったら戻りたくなる
- ・（吉田さん）海鮮が食べたくなったら帰省したくなる

【大学入学以降】

20.どんな仕事（職種）に就こうと考えていますか／就くことが決まりましたか。

調査順	仮名	学年	性別	就職前／内定後	希望職種／内定職種
1	佐藤さん	3	男性	就職前	営業職 B toB の会社
2	鈴木さん	3	男性	就職前	営業職
3	高橋さん	2	女性	就職前	公務員 民間(飲食、広告)
5	伊藤さん	1	男性	就職前	理工系以外
7	山本さん	2	女性	就職前	情報系
10	加藤さん	1	女性	就職前	考えていない
11	吉田さん	3	女性	就職前	IT系 インフラ
13	佐々木さん	2	女性	就職前	経営 マーケティング 美容
14	山口さん	3	女性	就職前	教師
4	田中さん	4	男性	内定後	半導体業界
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	公務員 富山県庁
8	中村さん	M2	女性	内定後	心理職 医療系 若者支援
9	小林さん	4	男性	内定後	銀行員
12	山田さん	4	女性	内定後	ITの営業職

【大学入学以降】

20.どんな仕事（職種）に就こうと考えていますか／就くことが決まりましたか。

・まとめ

【就職前】

- ・男性の3分の2が営業職を希望。
- ・女性の希望職種は多様で、美容、飲食、インフラなどを希望していた。そのうち3分の1がIT、情報系希望だった。
- ・公務員志望を持つ人は女性1名のみだった。

【内定後】

- ・女性で富山県庁に公務員として勤務する方が1名。
- ・半導体、銀行員に男性が内定。
- ・女性にIT系営業職に内定している方がいた。ほか女性で心理職内定1名。

【大学入学以降】

20.どんな仕事（職種）に就こうと考えていますか／就くことが決まりましたか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（高橋さん）公務員は安定しているイメージ。
- ・（吉田さん）富山は企業が少ない。営業職、事務を目指していたら富山はなし。
- ・（山本さん）学部が情報系なのでそっち系。

【内定後】

- ・（中村さん）自分のやりたいことに近いと思った。
- ・（渡辺さん）大学に富山県の方が来られたことがあって、その時に県庁の方と話したりとか、その後もイベントに参加させてもらって、そこですごい人柄がいいなと思って目指しました。

【大学入学以降】

22-1/21-1.働く場所について、どこで働きたいと考えていますか／どこで働きますか

調査順	仮名	学年	性別	就職前／内定後	(希望する／就職後) 働く場所	移動類型 (I・J・U)
1	佐藤さん	3	男性	就職前	首都圏	I
2	鈴木さん	3	男性	就職前	こだわりなし	I J U
3	高橋さん	2	女性	就職前	大阪or富山	I or U
5	伊藤さん	1	男性	就職前	東京or大阪	I
7	山本さん	2	女性	就職前	富山or関西	I or U
10	加藤さん	1	女性	就職前	富山	U
11	吉田さん	3	女性	就職前	やりたいことが出来ればどこでも	I J U
13	佐々木さん	2	女性	就職前	富山or大阪	I or U
14	山口さん	3	女性	就職前	大阪or富山or横浜	7割I 3割U
4	田中さん	4	男性	内定後	富山	U
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	富山	U
8	中村さん	M2	女性	内定後	関西	I
9	小林さん	4	男性	内定後	大阪or京都	I or U
12	山田さん	4	女性	内定後	富山	U

【大学入学以降】

22-1/21-1.働く場所について、どこで働きたいと考えていますか／どこで働きますか

・まとめ

【就職前】

- ・女性で富山県を就職先の選択肢から除外している方はいない。富山か都市部かという希望が1番多くの割合を占めていた。
- ・男性は富山県外の都市圏を希望する人が多い。

【内定後】

- ・女性は3分の2が、富山県内での就職が内定。
- ・男性は富山と都市部で半分に分かれた。
- ・全体で見ても富山県内での就職が県外就職を上回った。

【大学入学以降】

22-1/21-1.働く場所について、どこで働きたいと考えていますか／どこで働きますか

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・(吉田さん)Uターンはいいなと思うが就職するなら金沢。
- ・(山本さん)富山の实家暮らしで働いている姉が楽そうが良い。
- ・(伊藤さん)仕事の選択肢の幅が県外の方がある。
- ・(加藤さん)家族が心配で一人っ子なので実家に帰りたい。

【内定後】

- ・(山田さん)家族、特に祖母から実家に帰ることを強く促されている。
- ・(渡辺さん)子育てまで考えるなら、親の近くに住みたいという子が多い。
- ・(田中さん)子どもがいた方が安心なんじゃないか。

【大学入学以降】

22-2/21-2.働く場所について、どういう理由でその地での就職を考えているのですか／
 いう経緯でその地での就職を決めたのですか

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	理由／経緯
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	富山県も住み慣れているという理由で選択肢に入っている
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	場所に大きなこだわりが無い
3	高橋さん	2	女性	就職前	I orU	生まれ育ったのでなんとなく富山地元付近か、大学の名が通る関西
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	仕事の選択肢が狭いため富山県は無い
7	山本さん	2	女性	就職前	I orU	まだ未定だが県内か県外半々
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	富山の良さに気づいたから
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	やりたいことが出来ればどこでも良い
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I orU	富山と関西で半々
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	7割 I 3割 U
4	田中さん	4	男性	内定後	U	東京は生活費が高く、充実するためには地方で高収入が良いと考えたから
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	家族や友だちがいて安心できる場所で暮らしたいから
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	富山県で希望する職業の働き口がないため
9	小林さん	4	男性	内定後	I orU	大阪に友達が多いため、暮らしたり遊ぶのに適しているから
12	山田さん	4	女性	内定後	U	富山と大阪の二つで就活をしていたため

【大学入学以降】

22-2/21-2.働く場所について、どういう理由でその地での就職を考えているのですか／どういう経緯でその地での就職を決めたのですか

・まとめ

【就職前】

- ・生まれ育ち慣れ親しんだ富山で働く安心感の為にUターンを志す人もいる。
- ・場所にこだわりが無い人もいる。
- ・富山県でも良い、というような否定ではないが積極的でもない就職先の土地として富山を挙げる例があった。

【内定後】

- ・その土地で暮らす上で、それぞれ大切にしたい条件(お金や遊ぶ場所)によって様々。
- ・働きたい職業の枠が富山に無かった事例もあった。

【大学入学以降】

22-2/21-2.働く場所について、どういう理由でその地での就職を考えているのですか／どういう経緯でその地での就職を決めたのですか

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・(伊藤さん)富山県は仕事の選択の幅が少ない。
- ・(山口さん)プライベートが無く、娯楽が少ない。

【内定後】

- ・(小林さん)大阪は暮らしたり遊んだりするのにいい場所。
- ・(中村さん)富山県で心理学の雇い口がない。
- ・(渡辺さん)就職を機に家族や友だちがいる安心できる場所で暮らしたいと考えるようになった。

【大学入学以降】

22.【就職内定後の方のみ】就職活動前・就職活動中・就職活動後でどのような心境の変化がありましたか

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	心境の変化
4	田中さん	4	男性	内定後	U	話すことが苦手で自信のない状態から、周りも大したことないと思えるようになった
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	民間企業志望から、話を聞くことで公務員を志すようになった
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	家庭裁判所国家公務員を志していたが全国転勤に躊躇し、断念
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	インフラ志望から勤務時間を考慮し、銀行員志望へと変化
12	山田さん	4	女性	内定後	U	0

【大学入学以降】

22. 【就職内定後の方のみ】 就職活動前・就職活動中・就職活動後でどのような心境の変化がありましたか

- ・まとめ
- ・就職活動をしている中で、志望している仕事に対する働き方(転勤や勤務時間)を考慮し、より条件に適した仕事を選ぶようになった。
- ・注目する結果の「語り」
- ・（渡辺さん）就職活動中に公務員の話聞き、公務員志望になった。

【大学入学以降】

21/23.働くうえで、どんなことを重視していきたいと考えていますか。

(例えば、収入、やりたい仕事、職場の雰囲気、仕事量、ワークライフバランスなど)

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	働くうえで重視していきたいこと
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	収入、仕事内容、挑戦できるか
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	収入、最初からバリバリ働ける、時間的余裕
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	人間関係、ワークライフバランス
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	ワークライフバランス
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	収入、ワークライフバランス
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	ワークライフバランス
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	ワークライフバランス、副業できるか
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	(回答なし)
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	収入、ワークライフバランス、人間関係
4	田中さん	4	男性	内定後	U	収入、ワークライフバランス
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	ワークライフバランス、職場の雰囲気
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	職場の雰囲気、仕事内容
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	収入、ワークライフバランス
12	山田さん	4	女性	内定後	U	やりがい

【大学入学以降】

21/23.働くうえで、どんなことを重視していきたいと考えていますか。

(例えば、収入、やりたい仕事、職場の雰囲気、仕事量、ワークライフバランスなど)

・まとめ

【就職前】

- ・ワークライフバランスを重視する回答が目立つ一方、収入や仕事内容などに対する関心の置き方は人によって異なり、複数の条件を総合的に考えている傾向がみられる。

【内定後】

- ・収入やワークライフバランスを前提としつつ、職場の雰囲気や仕事内容、やりがいなど、実際の就職先を想定した具体的な条件を重視する傾向が強まっている。

【大学入学以降】

21/23.働くうえで、どんなことを重視していきたいと考えていますか。

(例えば、収入、やりたい仕事、職場の雰囲気、仕事量、ワークライフバランスなど)

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・(伊藤さん)ワークライフバランスのような、どれだけしっかり休める日があるかなどの福利厚生を重視したい。
- ・(佐藤さん)収入はもちろん、その中でやりたい仕事ができるか、あとは挑戦していけるか、あるいは失敗を許されるかを重視。

【内定後】

- ・(渡辺さん)内定が決まった会社で就活中に見学に行ったり実際に話を聞いたりした際に、みんなすごくいい人で自分と職場の雰囲気が合うなと思ったので、そこが今の会社を目指したきっかけでもある。

【大学入学以降】

23/24.大学入学後、富山県に暮らしている友だちとはどれくらいの頻度で会っていますか。
また、富山県出身の県外で暮らしている友だちとはどのくらいの頻度で会っていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	大学入学後：富山県の友達と会っている頻度
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	県内住：帰省時で年に3回 県外住：2ヶ月に1回
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	県内住：帰省時に会う 県外住：帰省時に会う
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	県内住：年に2回 県外住：年に1回
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	県内住：帰省時に会う 県外住：毎週電話
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	県内住： 県外住：月1回
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	県内住：月1回 県外住：月1回
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	県内住：帰省時に会う 県外住：帰省時に会う
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	県内住： 年に1.2回 県外住：年に1.2回
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	県内住：帰省時に会う 年に5.6回 県外住：月1回
4	田中さん	4	男性	内定後	U	県内住：半年～3か月に1回 県外住：ほとんど会っていない
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	県内住：年に1回 県外住：月2回
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	県内住：帰省時に会う 県外住：帰省時に会う
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	県内住：帰省時で年に3回 県外住：帰省時で年に3回
12	山田さん	4	女性	内定後	U	県内住：(回答なし) 県外住：(回答なし)

【大学入学以降】

23/24.大学入学後、富山県に暮らしている友だちとはどれくらいの頻度で会っていますか。
また、富山県出身の県外で暮らしている友だちとはどのくらいの頻度で会っていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・富山県内外の友人と帰省時に会うことが多く、加えて年に数回や月1回など比較的頻度の高い交流を続けている回答もみられる。

【内定後】

- ・富山県内外の友人と主に帰省時に会うとする回答が中心で、就職前に比べて会う頻度は年1回程度など低頻度に集中している。

【大学入学以降】

23/24.大学入学後、富山県に暮らしている友だちとはどれくらいの頻度で会っていますか。
また、富山県出身の県外で暮らしている友だちとはどのくらいの頻度で会っていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・(鈴木さん)年末年始、春休み、お盆に帰るが、帰省する度に会っている。
- ・(伊藤さん)長期休暇でないと会えない。
- ・(山口さん)富山の友達が京都に遊びに来てくれたりするので年に5.6回は会っている。

【内定後】

- ・(渡辺さん)関西に来た友達などとは会う機会が多く、平均で月2回は会っている。
- ・(田中さん)富山県出身の県外で暮らしている友達とはほとんど会えていない、東京となるとやはり少し離れているしなかなか会う機会がない。

【大学入学以降】

24/25.あなたの希望する／あなたが就くことになっている職種や働く場所について、家族はどんな考えを持っていますか。いつごろからその考えを言われていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	あなたの働き方に対する家族の考え・言われ始めた時期
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	本人の選択を尊重している。
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	母親に営業職は向いていないと言われている。
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	県外就職も含め、職種は自由で特に干渉しない。
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	やりたい事をすればいいと思う。
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	よく考えるように言われている。
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	入学前は富山に戻ることを望まれていた。
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	両親、祖父母から富山への帰郷を望まれている。
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	兄はプログラミングを勧め、母は自由、祖母は帰郷希望。
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	両親は富山を離れたいと考えている。
4	田中さん	4	男性	内定後	U	勤務地にこだわらず、本人に任せている。
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	特に意見はないが、帰郷を喜ぶと思われる。
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	当初は地元へ戻ることを期待されていた。
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	賛否を示さず、県外就職を想定していた。
12	山田さん	4	女性	内定後	U	富山に住む祖母は、帰ってくることを望んでいる。

【大学入学以降】

24/25.あなたの希望する／あなたが就くことになっている職種や働く場所について、家族はどんな考えを持っていますか。いつごろからその考えを言われていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・ 本人の意思を尊重し、職種・勤務地への干渉は少ない
- ・ 入学前は富山への帰郷を望む声があった

【内定後】

- ・ 勤務地は本人に任せる姿勢
- ・ 明確な賛否はなく、帰郷すれば喜ばれると考えられる

【大学入学以降】

24/25.あなたの希望する／あなたが就くことになっている職種や働く場所について、家族はどんな考えを持っていますか。いつごろからその考えを言われていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（吉田さん）帰省のたびに、祖父母や両親から富山への就職を期待する発言があった。
- ・（山田さん）祖母は帰郷を望む一方、両親は「好きにしてよい」と本人の選択を尊重していた。

【内定後】

- ・（中村さん）当初は地元へ戻る前提の期待が強かったが、進路を曖昧に伝え続ける中で両親は次第に口出ししなくなった。祖父には長女継承の価値観による帰郷期待が残っていた。

【大学入学以降】
 25/26.今お住まいの地域と富山で、生活するうえで感じる人間関係に関する大きな違いはどんなことですか。それぞれの人間関係のいい点、いやな点を教えてください。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	人間関係いい点／嫌な点 今お住まいの地域	人間関係いい点／嫌な点 富山
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	富山と大きな違いは感じられない	
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	相手に応じて関わり方を変えているため、環境差は感じていない	
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	地域による違いはあまり感じていない	幅広い年齢層との関わりがある
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	人は優しいが、人が多く疲れることもある	
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	温かいが、圧を感じることもある	干渉は少ないが、人との距離を感じることもある
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	話しやすい	
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	温かく、距離感がちょうどよい	関心が強いが無関心か、両極端に感じる
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U		
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	サバサバしており、付き合いやすい	温かいが、近所との距離が近く噂が広まりやすい
4	田中さん	4	男性	内定後	U	友人と遊ぶ場所の選択肢が多く、行動しやすい	昔からの友人が多く、思い出話ができる
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	大学には友人がいるが、近所付き合いは少ない	地域の関わりが深く、人との関係が密である
8	中村さん	M2	女性	内定後	I		地域のつながりが強い 個人情報共有がしやすい
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	上下関係を含む幅広い年代とのつながりがある	同年代中心の人間関係である
12	山田さん	4	女性	内定後	U		交友関係が狭く、情報が広まりやすい

【大学入学以降】

25/26.今お住まいの地域と富山で、生活するうえで感じる人間関係に関する大きな違いはどんなことですか。それぞれの人間関係のいい点、いやな点を教えてください。

・まとめ

【就職前】

- ・今の地域と富山の人間関係について「大きな違いはあまり感じない」という意見が多い。人が温かく話しやすいと感じる一方で、距離の近さに疲れることもあるが、それは地域差ではなく、自分自身の関わり方の問題として受け止めている。

【内定後】

- ・内定後は、地域ごとの人間関係の違いをより具体的・現実的に意識するようになる。富山ではつながりの強さや安心感がある一方、人間関係が密で、情報が広まりやすく気を遣う点が挙げられている。

【大学入学以降】

25/26.今お住まいの地域と富山で、生活するうえで感じる人間関係に関する大きな違いはどんなことですか。それぞれの人間関係のいい点、いやな点を教えてください。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（伊藤さん）「大阪は人がとにかく優しいと感じました。横断の時も車が止まってくれて、最初は『本当にいいの？』と思うくらいでした。ただ、都会なので人が多くて、疲れることはあります。」

【内定後】

- ・（中村さん）「実家では新聞のお悔やみ欄を見るのが当たり前でしたが、大学で話すと驚かれました。地域によってプライバシーに対する考え方がかなり違うと感じています。ご近所付き合いには親しみはある一方で、結婚や進学先など、知りたくない情報まで早く伝わるのは少し嫌だなと思います。」

【大学卒業後】

26-1/27-1.大学卒業後、どんな生活をしていきたいと考えていますか。どんな人間関係を特に大切にして暮らしていきたいと考えていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	希望する生活・人間関係
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	東京で就職、一人暮らし。今の交友関係を大切に。
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	全国転勤あり。転職なし。会社と現在の交友関係。
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	就職、結婚して楽しく暮らし、同僚とも仲良く。
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	WLBを大切にする。現在と今後の関係も大切に。
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	就職は他県希望。現在の交友関係。
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	富山で生活。家族、現在の交友関係。
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	関西や金沢などで就職。現在の交友関係。
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	一人暮らししたい。若い時は都市圏で過ごしたい。
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	若い時は都市圏。職場だけでなく広く関係築く。
4	田中さん	4	男性	内定後	U	関西で働きたい。大学時代の友達を大切に。
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	住み慣れた富山。家族や現在の交友関係を大切に。
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	関西で就職、定住。地元と大学の友達両方大切に。
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	WLB重視。若い時は関西就職。大阪での人間関係。
12	山田さん	4	女性	内定後	U	富山で就職。地元の友達や家族。

【大学卒業後】

26-1/27-1.大学卒業後、どんな生活をしていきたいと考えていますか。どんな人間関係を特に大切にしたいと考えていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・若い時は都市圏で就職し、自立した生活をしたと考えてる人が多く、ワークライフバランスを重視している。一方で少数だが、家族や地元の友人との繋がりを重視し、住み慣れた富山で就職を希望する人もいる。
- ・また人間関係においては、家族とは過度な干渉を避け、地元の友人や大学で出会った友人の関係を大切にし、職場でも良好な関係を築いていきたいと考えている。

【内定後】

- ・大学卒業後、関西圏で就職、一人暮らしを想定していて、ワークライフバランスを重視した生活を送りたいと考える傾向が多く見られる。
- ・人間関係においては地元の友人や大学で出会った友人の関係を大切にしたいと考えている。

【大学卒業後】

26-1/27-1.大学卒業後、どんな生活をしていきたいと考えていますか。どんな人間関係を特に大切にしたいと考えていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（佐々木さん）「京都でも富山でも、親とは一緒に暮らさずに一人暮らしをしたいと思っています。」
- ・（伊藤さん）「ワークライフバランスを重視してます。」「働くとなれば、まず言えるのは富山はないかなーって感じです。」

【内定後】

- ・（渡辺さん）「家族とか友達とかと一緒に楽しくやっていたら良いなって思っています。」
- ・（田中さん）「大阪4年間住んでいて、交通の便とか、娯楽とか、遊びの面でも大阪の方が住みやすい。」

【大学卒業後】

26-2/27-2. 今から想定しているライフイベントはありますか、具体的な想定があったら教えてください。また、何年後の将来まで考えていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	想定しているライフイベント
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	30歳頃に結婚、子どもは1人ほしい、一軒家建てる。
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	30歳頃に結婚、子どもほしい、家も建てたい
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	30歳頃に結婚したい
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	30歳頃に家庭築きたい、一軒家建てたい
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	25,26歳頃に結婚
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	なし
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	23歳頃に結婚したい
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	30歳頃に結婚したい、仕事も続けたい、出産は未知
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	結婚、出産がなければ、40代頃には家を建てたい
4	田中さん	4	男性	内定後	U	まだ未定、40から50歳頃に富山に戻る
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	来年までのことしか考えてない
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	なし
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	現段階では考えてない
12	山田さん	4	女性	内定後	U	結婚したい

【大学卒業後】

26-2/27-2.どれくらいまでにどうなったらいいなど、今から想定しているライフイベントはありますか。具体的な想定があったら教えてください。また、何年後の将来まで考えていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・ 30歳頃に結婚し、子どもがほしい人が多い。また、一軒家を持ちたい人も多い。

【内定後】

- ・ 現段階ではあまり考えてない。

【大学卒業後】

26-2/27-2.どれくらいまでにどうなったらいいなど、今から想定しているライフイベントはありますか。具体的な想定があったら教えてください。また、何年後の将来まで考えていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（佐藤さん）30歳までには結婚し、40代で家を建てたい。

【内定後】

- ・（小林さん）現段階では先のことは考えていない。
- ・（田中さん） 明確なビジョンはないが、実家から会社に通い家賃を抑えながら、お金貯めたい。3か月に1回くらい友達と会えたらいい。

【大学卒業後】

27/28.富山へのUターンについて考えていますか。（考えている場合）時期と理由。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	Uターン 想定有無	(考えている場合) 時期と理由 (考えていない場合) 理由
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	有	退職後：運転できたら富山は住みやすい
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	有	転勤でならいくことも可能
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	有	いつか：家族や友達が近くにいる環境がいたため
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	無	県外の方が選択肢が多いため
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	未定	決まっていない
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	有	就職時：富山が好き・大阪で暮らせる気がしない・家族が心配・住みやすい
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	有	就職時（やりたいことができる場合）
13	佐々木さん	3	女性	就職前	I or U	有	定年頃：友人とご飯が理由
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	有	40代頃：マイホームを建てるため
4	田中さん	4	男性	内定後	U	有	富山県で就職：地方で高収入が一番合理的なため
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	有	富山県で就職：富山県が安心できるため
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	有	就職後1人暮らしの後：友人が大切なため
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	有	40~50歳代：親の面倒を見るため・富山に本部があるため
12	山田さん	4	女性	内定後	U	有	就職時：祖母に帰ってきてほしいと言われたため

【大学卒業後】

27/28.富山へのUターンについて考えていますか。（考えている場合）時期と理由。

・まとめ

【就職前】

- ・あまりしっかり決めていない方が多く、富山県に戻る方も若いタイミングではなく40代以降が多く見られた。
- 女性にはUターンに前向きな方が多い印象があった。
- 人間関係面（家族や友人）が理由となっているケースが多く見受けられた。

【内定後】

- ・富山県での就職が決まっている方は、家族や友人といった人のつながりが多く理由に挙げられている。
- ・一旦は富山県以外で就職してから、富山県に帰るという方も多い。

【大学卒業後】

27/28.富山へのUターンについて考えていますか。（考えている場合）時期と理由。

・ 注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・ （伊藤さん） 富山よりも東京・大阪のほうが選択肢が多い。
- ・ （加藤さん） 住みやすい場所が大事・大阪で暮らせる気がしない（富山に就職を考えている）。

【内定後】

- ・ （田中さん） 大阪や東京の大手企業に入るのはレベルが高いし、入れなかったときに東京で過ごすのは物価や家賃が高いため過ごしにくいと思い、生活のレベル的に考えて1番充実しているのは地方で高収入だと思った。

【大学卒業後】

28/29. 家族や友達はあるあなたの希望する生活についてどんな考えを持っていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	希望する生活に対する周囲の考え
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	誰も違和感を持っていない。
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	母に結婚しても何も変わらないと言われている。
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	肯定的。周りの人は早く結婚したい雰囲気。
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	いつ結婚するの？と軽く聞かれる
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	言及なし
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	県内に戻ってきてほしい
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	富山に帰ってきて富山の人と結婚してほしい
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	父は寂しがっている
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	家族は肯定的
4	田中さん	4	男性	内定後	U	尊重してくれている
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	言及なし
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	祖父母は生きている間に結婚してほしい
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	働きたいところで働いてほしい
12	山田さん	4	女性	内定後	U	富山へのUターンを望んでいる

【大学卒業後】

28/29. 家族や友達はあるあなたの希望する生活についてどんな考えを持っていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・ 富山県内に戻ってきてほしい傾向がみられる。
- ・ 結婚への発言が多くみられる。

【内定後】

- ・ 本人の意思を尊重している傾向がある。

【大学卒業後】

28/29. 家族や友達はあなたの希望する生活についてどんな考えを持っていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（吉田さん）大学卒業後、親から富山に帰ってきてほしい・富山の人と結婚してほしい→富山に帰ってきてほしいからこそ富山の人と結婚という発言？

【内定後】

- ・（中村さん）祖父母は出来れば生きているうちに結婚してほしいという感じがある。

【大学卒業後】

29/30. 富山に暮らす家族・友人とはどんな距離感で生活していけたらいいなと考えていますか。

調査順	仮名	学年	性別	状況	移動類型 (I・J・U)	富山に暮らす家族・友人：希望する距離感
1	佐藤さん	3	男性	就職前	I	今と同じように年に2～3回くらい会う程度。
2	鈴木さん	3	男性	就職前	I J U	母親に恩返ししたい。友人とは年1回。
3	高橋さん	2	女性	就職前	I or U	このまま継続して会っていきたい。
5	伊藤さん	1	男性	就職前	I	距離は離れても縁は切りたくない。
7	山本さん	2	女性	就職前	I or U	言及なし
10	加藤さん	1	女性	就職前	U	言及なし
11	吉田さん	3	女性	就職前	I J U	家族とは暮らさず、一人暮らしがいい。
13	佐々木さん	2	女性	就職前	I or U	年に2回くらい
14	山口さん	3	女性	就職前	7割I 3割U	就職しても今と同じくらいの頻度で帰りたい。
4	田中さん	4	男性	内定後	U	家族は同居なので、つかず離れず。
6	渡辺さん	M2	女性	内定後	U	富山で一人暮らしなので、休日は家族に会う。
8	中村さん	M2	女性	内定後	I	今は理想に近い。近すぎず遠すぎずの関係。
9	小林さん	4	男性	内定後	I or U	年に数回。休みが合えば会いたい。
12	山田さん	4	女性	内定後	U	言及なし

【大学卒業後】

29/30. 富山に暮らす家族・友人とはどんな距離感で生活していけたらいいなと考えていますか。

・まとめ

【就職前】

- ・ 年2．3回の頻度で良い人が多く、現状に満足している。

【内定後】

- ・ 就職前と似ている。
- ・ Uターン就職し、親と同居する人もいる。

【大学卒業後】

29/30.富山に暮らす家族・友人とはどんな距離感で生活していけたらいいなと考えていますか。

・注目する結果の「語り」

【就職前】

- ・（鈴木さん）母親とはこれからも就職した後もたまに会いたい、恩返しをしたい。

【内定後】

- ・（田中さん）Uターンして家族と同じ家に住むが、つかず離れずの関係を構築したい、近い距離の友人とは高頻度で会いたい。

インタビュー後の感想で興味深かった点

- ・（田中さん）もっと踏み込んだ質問、抽象的な質問が来ると思っていた。
例えば？→富山のイメージについて 回答：「暮らしやすい」
 - ・車の便利さ
 - ・賃金に対して物価がかなり低い
- ・（佐々木さん）（当ゼミが）富山に注目しているのに驚いた。
- ・（山口さん）これから採用試験にむけて、自分を振り返るいい機会になった。富山には盛り上がってほしいため、このインタビューが役に立つとうれしい。

4. 考察

仮説の適否

①「Uターンしない」と判断に至った要因

仮説1) 【仕事】

〔個人の意識〕 富山県よりも大都市部の方が条件のよい仕事があるから
→ 適：条件という部分以外にも職種や仕事の選択肢が大都市部の方が幅広いこと。通っている大学によって就職に強い地方があり、関西の大学に通っている方はそのまま関西で就職するということが考えられる。

〔周囲からの影響〕 周囲から大都市部での就職を勧められたから
→ 否：大都市部での就職に対して肯定的な反応が多かったが、勧められたという回答は見られなかった。

仮説の適否

①「Uターンしない」と判断に至った要因

仮説2) 【生活】

〔個人の意識〕・富山県よりも大都市部の方が楽しく便利に暮らせると思うから

→適：大都市部の利便性や生活の充実度を肯定的に捉える語りが見られたことから、こうした生活意識が富山に戻る必要性を感じにくくしている。

〔周囲からの影響〕・周囲からのサポートを期待できない（望まない）ため

→否：サポートを期待できない（望まない）という語りは見られなかった。家族等、帰ってきてほしいと思っている場合も多く、また本人も家族や友人がいる安心感を語りやすい傾向だった。「富山に戻りたくない」という明確な意識を語った人はいなかった。

仮説の適否

①「Uターンしない」と判断に至った要因

仮説3) 【人間関係】

〔個人の意識〕・富山県よりも大都市部の方がしがらみに煩わされず自由にふるまえるから

→適：地域の繋がりが強く、噂がまわりやすい事に対してあまり良く思っていないという回答が、特に女性で多く見られた。

〔周囲からの影響〕・周囲からの大都市部で暮らしてほしいという思いに影響を受けたから

→否：Uターン就職をしないと判断した人は、富山県内よりも県外の方が就職先の選択肢が広いことを理由に挙げており、他者からの影響は見受けられなかった。

仮説の適否

②「Uターンする」と判断に至った要因

仮説1) 【仕事】

〔個人の意識〕・大都市部よりも富山県の方が自分に適した仕事があるから

→適：ワークライフバランスや収入面を重視し、県内就職をした人が多かった。富山県庁への就職などピンポイントなものもあった。

〔周囲からの影響〕・周囲から話を聞いて富山県での就職に魅力を感じたから

→否：Uターンを考えている人は、家族や友人がいることや富山県が好き、住みやすいことを理由に挙げていて、周囲から話を聞いて富山県での就職に魅力を感じたという理由は挙げられていない。

仮説の適否

②「Uターンする」と判断に至った要因

仮説2) 【生活】

〔個人の意識〕・大都市部よりも富山県の方が平穏に暮らせると思うから

→適：大都市部で暮らすことにより生活するうえでの騒音問題。

富山県其自然豊かな環境を再度認識。

〔周囲からの影響〕・周囲からの生活のサポートを受けられるから

→適：地元で家族や知人がいることで、日常生活の支援や緊急時の助けを得やすく、生活の安定につながる。特に多くの女性から語られていた。

＊ただし、Uターンのタイミングについては、若いタイミングではなく40代以降の希望が多くみられた。

仮説の適否

②「Uターンする」と判断に至った要因

仮説3) 【人間関係】

〔個人の意識〕・大都市部よりも富山県の方が自分を大切にしてくれる関係性のなかで安心してふるまえるから

→適：Uターンを希望する回答者からは、家族や周囲がやりたいことや進学を尊重してくれたと語る人も多く、慣れ親しんだ富山での暮らしの安心感、富山への肯定的感情についての語りもよく語られていた。

〔周囲からの影響〕・周囲からの富山に戻ってきてほしいという思いから影響を受けたから

→否：周囲からの影響というよりは、個人の価値観に基づく主体的選択が多かった。

全体的考察

——富山県出身女性の県外移住の観点から

- ・結婚や出産を想定している女性回答者は、「実家のサポート」を得やすいことから、富山へUターンする／Uターンも考えていると語る傾向が強いように感じられた。ただし、結婚・出産といったライフイベントに関係なく、富山で暮らす安心感・暮らしやすさについての語りも女性に多く見られた。
- ・就職前や内定後Uターンする女性回答者では、富山の家族や交友関係を大切にするために富山に帰りたいという意見が多くみられた。内定後Uターンしない女性回答者も、関西での交友関係が発展しているため関西圏で働いていきたいが、地元の友人も大切であるため、ひとり暮らし後にUターンも考えているという意見であった。ただし、Uターンのタイミングについては、「就職時」という回答もみられた一方で、「若いころは都市圏で」など、やや時間をおいてからといった意見も複数みられ、自らの描くライフプランによって多様な考え方の存在がうかがわれた。
- ・富山における人間関係について、「地域の繋がりが強く、噂がまわりやすい」といった語りは女性のみでみられ、男性からはこのような語りはみられなかった。進学や就職・結婚・出産といったライフイベントに関する地域での情報共有の程度が地域での女性の暮らしにくさにつながっている可能性がうかがわれた。

富山県の若者の転出超過という課題に関して富山県出身大学生のお話をお伺いして感じたこと：

【感想】

- ・ 地元への愛着を持つ方は多かったが、就職先として条件を比較する際、愛着を理由に県内就職を希望する方は少なかった印象を覚えた。
- ・ 傾向として女性の方が、結婚・出産や就職後の実家からのサポート、実家へのサポートを考慮してUターンを選択肢に加えていると感じた。
- ・ 富山にある実家への愛着を男女共に感じた。Uターン志望率は女性の方が高く、女性の方が、実家と自分を結びつけて考えている印象を受けた。

【問題点・改善アイデア】

- ・(大阪のような都市圏と比べて)進学先が限られる

→各高校に1クラス特進クラスのような勉強したい人を伸ばすためのクラス（SSH・SGH等のような）を設置する

+ 飛躍支援の一層の充実

+ 居場所としての富山の魅力PR（関係人口育成+富山県と関わっている富山県出身で県外・国外で活躍している方との交流）

- ・遊ぶ場所・娯楽が少ない

→魅力的な自然が多いから県が主体となって自然をアピールする

「自然界隈」という言葉が流行っているくらいなので、若者の関心を惹くのでは？

* 大人が満喫する富山での自然遊びを子どものころから体験してもらう機会の増大
（マリンスポーツ・マウンテンスポーツ・キャンプ・グランピング等）

【施策提案】

○富山県で暮らしていく選択肢の魅力を伝える施策案（安心・安定した生活ビジョン）

- ・高校の総合探求の時間で「富山県を居点（拠点）として暮らしていく場合の人生設計」をしたり、「富山県での生活を楽しんでいる人の日常」を疑似体験してもらう

○県外からのUターン・Iターンを促進する施策案

- ・春夏の長期休暇に合わせたオンラインでの富山出身者の集まりを開き、就活や進路の情報共有の場として使ってもらう

○女性に対する施策案

- ・正社員での女性の中途採用を積極的に行っている企業とそこで働くUターン・Iターン女性のPR活動を活発化させる
 - ＊夫の転勤に帯同、家族の介護、過重な身体的・心理的負荷による休職など、キャリアの見直しを迫られた女性を積極的にサポート

反省と今後の課題

本調査では、「富山県の大学生において、女性が男性に比べて転出する割合が高いのはなぜか」という課題について調査を行いました。

しかし、女性に対する分析を試みていたものの、不十分だったと感じています。

そのため、県外へ転出する女性特有の背景や心理について、十分に明らかにすることができなかった点が反省点だと考えています。

来年度の追加調査では、今回の反省を踏まえ、複数の質問項目を組み合わせ分析したり、男女間の差異に注目した視点で分析していきたいと考えています。

また、「将来的にUターンするとした場合、どのような条件や変化があれば戻りたいと感じるのか」といった質問を行うことで、富山に戻るきっかけについて、より具体的に把握できるのではないかと感じました。

さらに、大学在学中に県やマイナビなどの就職支援サイトを通じて地元の就職先を知る機会があったか、またそれらを魅力的に感じたかについても聞くことで、地元就職に関する情報提供の課題が見えてくるのではないかと考えています。

〈文献〉

- ・ 江森百花・川崎莉音、2024、『なぜ地方女子は東大を目指さないのか』 光文社。
- ・ 朴澤泰男、2016、『高等教育機会の地域格差：地方における高校生の大学進学行動』 東信堂。
- ・ 石黒格・李永俊・杉浦祐晃・山口恵子、2012、『「東京」に出る若者たち：仕事・社会関係・地域間格差』 ミネルヴァ書房。
- ・ 吉川徹、2001、『学歴社会のローカル・トラック：地方からの大学進学』 世界思想社。
- ・ 轡田竜蔵、2017、『地方暮らしの幸福と若者』 勁草書房。
- ・ 難波攻士、2012、『人はなぜ〈上京〉するのか』 日本経済新聞出版。
- ・ 尾川満宏、2018、「若者の移行経験にみるローカリティ：仕事，家族，地元のリアリティをめぐる社会＝空間的アプローチの可能性」『教育社会学研究』 102、pp.57-77.
- ・ 田垣内義浩、2022、「地方県の非都市部からの大学進学：低進学率地域の高校におけるリソースの制約と傾斜配分」『教育社会学研究』 110、pp.213-235.
- ・ 寺町晋哉、2026、『なぜ「地方女子」は呪縛になるのか』 集英社新書。
- ・ 打越文哉・本田由紀編、2025、『進学校の進路選択とジェンダー：高校生たちの描く未来』 大月書店。
- ・ 上野千鶴子・山内マリコ（著）、藤井聡子（協力）、2025、『地方女子たちの選択』 桂書房。
- ・ 上山浩次郎、2011、「大学進学率の都道府県間格差の要因構造とその変容：多母集団パス解析による4時点比較」『教育社会学研究』 88、pp.207-227.

ご清聴ありがとうございました

調査にご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます

引き続きどうぞよろしく願いいたします